

西中 夢 Library

図書便り 6月号

発行 海田西中学校

司書 笠原 真弓

雨のよく降る季節になりました。この時期は、外で遊べないことも多いですね。そんなときは、ぜひ図書室に足を運んでみてくださいね。雨が降って憂うつな気分ときは、読書をして気持ちを切り替えることをおすすめします。

【 図書室からのお知らせ 】



試験週間、の放課後図書室を解放します。
6月28(水)～7月4日(火)
16時45分まで図書室を利用できます。
家だとなかなか集中できない人、いつもと違う
場所で勉強したい人。立ち寄ってみてください。

【 くじびき祭り開催します 】

“図書室をもっと利用してもらいたい”という思いで、図書委員会が計画したお楽しみ企画の【くじびき祭り】を、来月開催します。本を借りると、くじが引けます。くじで当たりがでたら、素敵なものが……！ぜひこの機会に本を借りて、くじ引きに参加してみてくださいね。

・期間 7月11日(火)～20日(木)

【 ノンフィクション作品を読んでみよう 】

生徒玄関前の展示コーナーを“ノンフィクション本”に変更しました。ノンフィクションとは、“創作ではなく実話に基づいた作品”のことです。私たちが生活しているこの社会には様々な問題があります。問題を丁寧な取材や、著者自らの体験によって明らかにした作品を集めてみました。自分が知らない分野を、1冊の本を通して知るという読書体験をぜひ味わってみてください。



【 もうすぐ入荷する本の紹介 】

ハヤブサ消防団/ 池井戸潤著 (集英社)

東京での暮らしに見切りをつけ、亡き父の故郷であるハヤブサ地区に移り住んだミステリ作家の三馬太郎。地元の人々の誘いで居酒屋を訪れた太郎は、消防団に勧誘される。迷った末に入団を決意した太郎だったが、やがてのどかな集落でひそかに進行していた事件の存在を知る。連続放火事件に隠された真実とは？

世界でいちばん透きとおった物語/ 杉井光著 (新潮社)

大御所ミステリ作家の宮内彰吾が死去した。宮内は妻帯者ながら多くの女性と交際し、そのうちの一人と子供までつくっていた。それが僕だ。「親父が『世界でいちばん透きとおった物語』という小説を死ぬ前に書いていたらしい。何か知らないか？」宮内の長男から連絡をきっかけに始まった遺稿探し。編集者の霧子さんの助言をもとに調べる。予測不能の結末が待つ、衝撃の物語。

夜道を歩く時、彼女が隣にいる気がしてならない

/ 和田正雪著 (KADOKAWA)

出版社アルバイトの米田は、実話怪談記事の執筆をする「怪談ライター」。ある日彼は取材中に、乃亜という不思議な女性と出会う。乃愛はオカルトマニアだった。そして特に「神隠し」に執着し、自らもいつか異界へと行くことを夢見ていた。乃亜と関わりたくないと感じていた米田だが、深夜のオカルトスポット巡りなどのデート(?)を通じて、距離を縮めていく。そして夏休み、奇妙な祭りの風習があるという話を聞いて、山奥の土地に赴いたのだが…。ラストが深く沁みる、新時代の青春恋愛ホラー。

星くずの殺人/ 桃野雑派著 (講談社)

完全民間宇宙旅行のモニターツアー。宇宙ホテル「星くず」に到着した直後、無重力のエリア内で機長の首つり死体が見つかる。殺人ならば犯人は誰でどうやって？癖のある乗客、失われる通信設備、逃げ出すホテルスタッフ。さらには第二の殺人まで！！帰還を試みようとすると、地上からあるメッセージが届き、それすら困難に。宇宙ステーションという特殊な空間を使った驚愕ミステリー。